

基調講演

Withコロナ時代の学生への動機付け ～モチベーション向上を目指して～

弊所では昨年来、新型コロナウイルス禍における学生へのメンタルヘルスについて廣川進先生からご講演をいただき、参加者の皆さまから好評を得てまいりました。具体的には、メンタルヘルスの基本に立ち返り、教育現場で学生がいきいきと学び、生きるためのアプローチ方法について考えてきました。

5月に新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に移行し、教育現場は従来の対面授業にほぼ戻っているかと思えます。ところが、コロナ禍の影響と思われるモチベーションの低下に苦しむ学生の存在を耳にすることが少なくありません。現場の先生は学生とどう向き合ったらよいのでしょうか。

学生が不安を解消し意欲的に生きるために、私たちはどうアプローチすればいいのか。教育現場や企業での豊富な実例をもとに解決策を考えていきます。

講演概要

廣川進先生の専門領域は、産業メンタルヘルス、惨事ストレス、そしてキャリアカウンセリングです。学校や企業での現場経験を踏まえた、〈問題提起〉とその〈背景説明〉、〈解説〉という流れを通して学生への動機付けについて理解を深め、モチベーション低下に悩む学生への具体的な対策について考えていきます。

〈問題提起〉 Withコロナ時代の教育現場の現状

〈背景説明〉 モチベーション低下とメンタルヘルス不調の要因、問題点の整理

〈解説〉 学生への動機付け強化、私たちができる具体例や支援・対応策

〈まとめとリフレクション〉

廣川進先生のプロフィール概要

法政大学 キャリアデザイン学部 教授（公認心理師・臨床心理士・文学博士）
1959年生まれ。慶應義塾大学文学部卒業後、株式会社ベネッセホールディングスにて、雑誌編集（『ひよこクラブ』の創刊等）の傍ら、大正大学大学院臨床心理学専攻修士・博士課程を修了。人事部に異動後は衛生管理者としてヘルスケア部門を立ち上げる。2001年退社後、大正大学心理社会学部臨床心理学科教授を経て現職。他、海上保安庁（惨事ストレス対策アドバイザー）、国立国会図書館、千葉県庁（復職支援）、再就職支援会社、都内クリニック等で非常勤カウンセラーとして勤務を経験。職場の「メンタルヘルスとコミュニケーション」「リーダーシップとモチベーション」、「キャリアカウンセラー養成講座」などの研修講師も勤める。

〈主な著書〉

- ・「心理カウンセラーが教える「がんばり過ぎて疲れてしまう」が楽になる本」
ディスカヴァー・トゥエンティワン
- ・「失業のキャリアカウンセリング 再就職支援の現場から」金剛出版
- ・「キャリア・カウンセリング エッセンシャルズ400」金剛出版